

## 集客施設における管理者の対応例

- 緊急地震速報の本運用に係る検討会最終報告 -

参考資料 9

## 集客施設における管理者の対応例

本検討会では、緊急地震速報の提供に伴う、不特定多数の者が出入りする施設における混乱の発生を防止するため、施設管理者等の対応案を検討してきた。施設管理者の対応等については、今後、緊急地震速報の有効活用の観点から、国が中心となって検討を行うこととされたため、検討の成果を参考資料として以下に記す。

### 施設管理者のとりべき対応

施設管理者は、その施設の利用者や従業員等が緊急地震速報を有効に活用して、地震被害の軽減を図ることができるよう、自らの施設の特性を考慮し、施設利用者の安全確保の最も適切な方法を検討の上、対応マニュアルの作成等、以下の備えを行う。

#### ア 従業員等の対応マニュアルの作成等

施設利用者等がパニックを起こさないように、落ち着いた行動を呼びかける等、地震発生時の対応に準拠することを基本として、緊急地震速報を施設内に放送するか否かを含めた従業員等の対応マニュアルを作成するとともに、定期的に従業員等の教育・訓練を行う。

#### イ 施設利用者の対応の周知

これまでに策定されている大地震時の対応例に準じて、施設利用者にとっていただくべき対応行動をとりまとめ、店内での掲示やリーフレットの配布などの種々の方法で施設利用者に周知する。その際には、次の点にも留意する。

- ・施設が耐震化されている場合は、軽々に行動せず、その場でじっとしていることが身の安全を図る良い対応行動となる場合もある。
- ・施設利用者が、移動体通信等を利用して、施設管理者を経由せず直接緊急地震速報を入手する可能性を考慮すると、施設管理者は緊急地震速報が発信されたことを積極的に施設利用者に知らせる方が混乱防止には有効である。
- ・放送を行わない場合は、入場時等に、地震時の行動（その場でじっ

としている、など)と放送を行わないことを十分周知しておくことが必要である。

- ・地震により転倒するおそれのあるものの近くなど、地震発生時に注意を要する必要性が高い場所については、日常から一般的な注意喚起を行うほか、施設利用者に分かるように、具体的にその場所を明示することも対応の一つである。

放送を行う場合の例を以下に示す。

(放送の例)

- ・(報知音)ただいま地震が発生しました(緊急地震速報が発表されました)。当館は耐震化されていますので安全ですが、念のため頭を保護し、落ち着いて係員の指示に従ってください。
- ・(報知音)ただいま地震が発生しました。念のため吊り下げ物の下や倒れそうなもののそばから離れて、揺れがおさまるのをお待ちください。
- ・(報知音)地震です。頭を保護して安全な姿勢を取ってください。